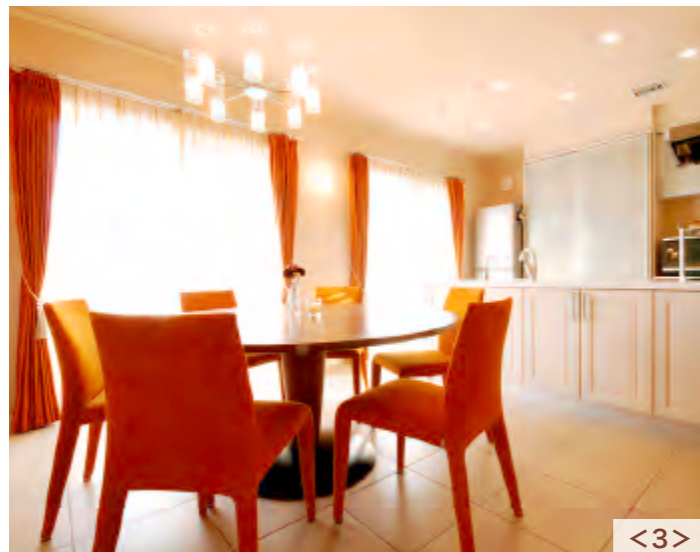




<2>



<1>



<3>

【右ページ写真】オレンジのアクセント壁が印象的なダイニング空間。床のカーペットや椅子のファブリックは落ち着いた色彩で統一されており、アクセント壁の色彩を際立てています。【写真1】椅子の張り地の赤い色彩は、活力を高め食欲を増進させると考えられます。天井の間接照明やペンダントライトの暖色系の灯りは緊張をほぐし、リラックスした状態で食事を摂ることができるでしょう。【写真2】明るいページジュを基調とした、とてもすっきりとしたダイニング空間。ペンダントライトと壁面を照らすスポットライトで明るく楽しい空間を構成しています。ダイニングテーブルに円卓を使用すると、同席した全ての人の顔を見ることができ、コミュニケーションが円滑になります。【写真3】カーテンと椅子の張り地がオレンジ色で統一されたダイニング空間。オレンジ色はさまざまな活力を高めることができ、家族団欒の空間であるダイニングにはとても適した色といえます。【写真4】壁面が少ない空間の場合は、間仕切り建具をアクセントとなるようなカラーリングにすることで、壁面の代用が可能です。ブラケットライトは窓面に対して左右対称になるように配置することで、すっきりとした印象をもたせることができ、バランスのとれた空間イメージとなります。



<4>

Feng-Shui Gallery

special edition vol.48

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『ダイニング空間のアクセントカラー』



**ダイニング空間の色彩は、視覚を通じ情報として
食べ物と一緒に体内へ摂取されると考えられています。
お皿と同じように、食事をおいしく摂れる色彩を選ぶことが大切です。**

ダイニング空間は、暖色系のアースカラー（自然界の色）で構成すると良いでしょう。「青」や「黒」など食物や植物に存在しない色を用いると、脳が異色と判断し食欲が減退します。またダイニングはコミュニケーションの場所でもあるので、「オレンジ」や「赤」などの活力を高める色彩をアクセントに用いると良いでしょう。